

# GNF-Jの施設運転実績(令和6年度)

令和7年12月

(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

# 1.加工施設運転状況

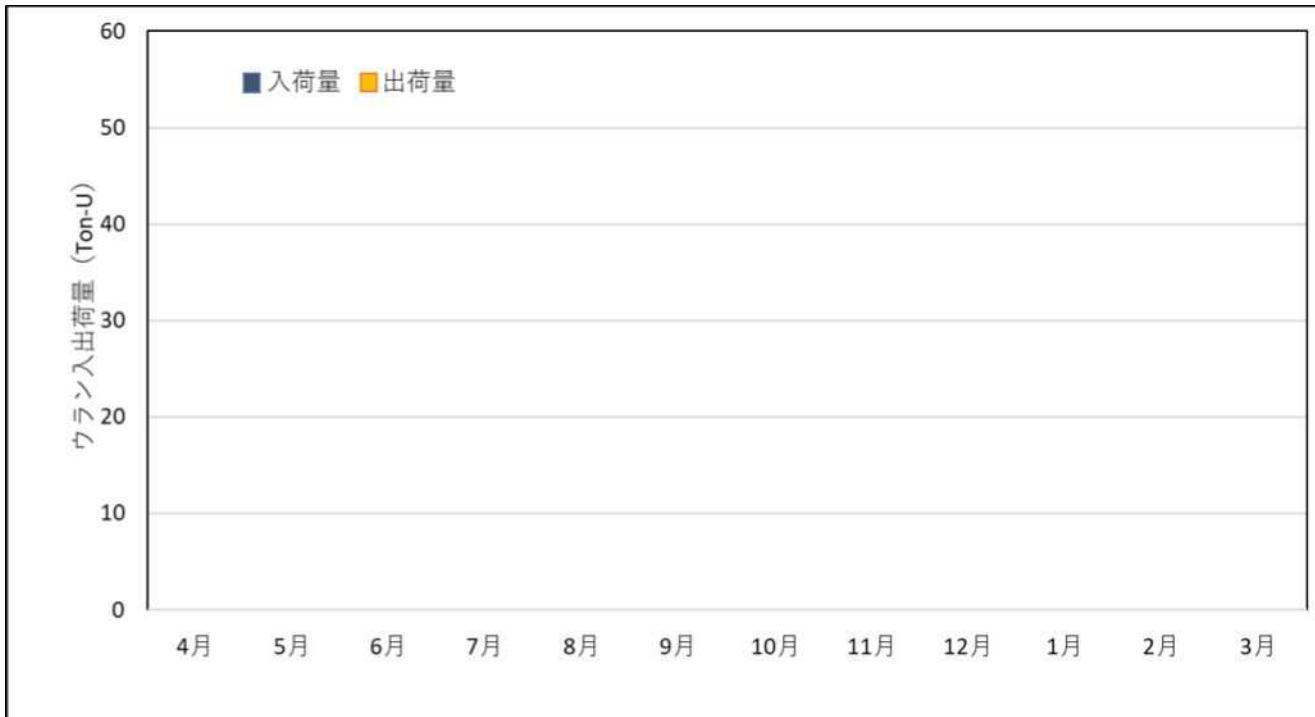
## 令和6(2024)年度ウラン出入荷量の推移

令和6(2024)年度計

ウラン入荷量 : 0 Ton-U  
ウラン出荷量 : 0 Ton-U

ウラン在庫量

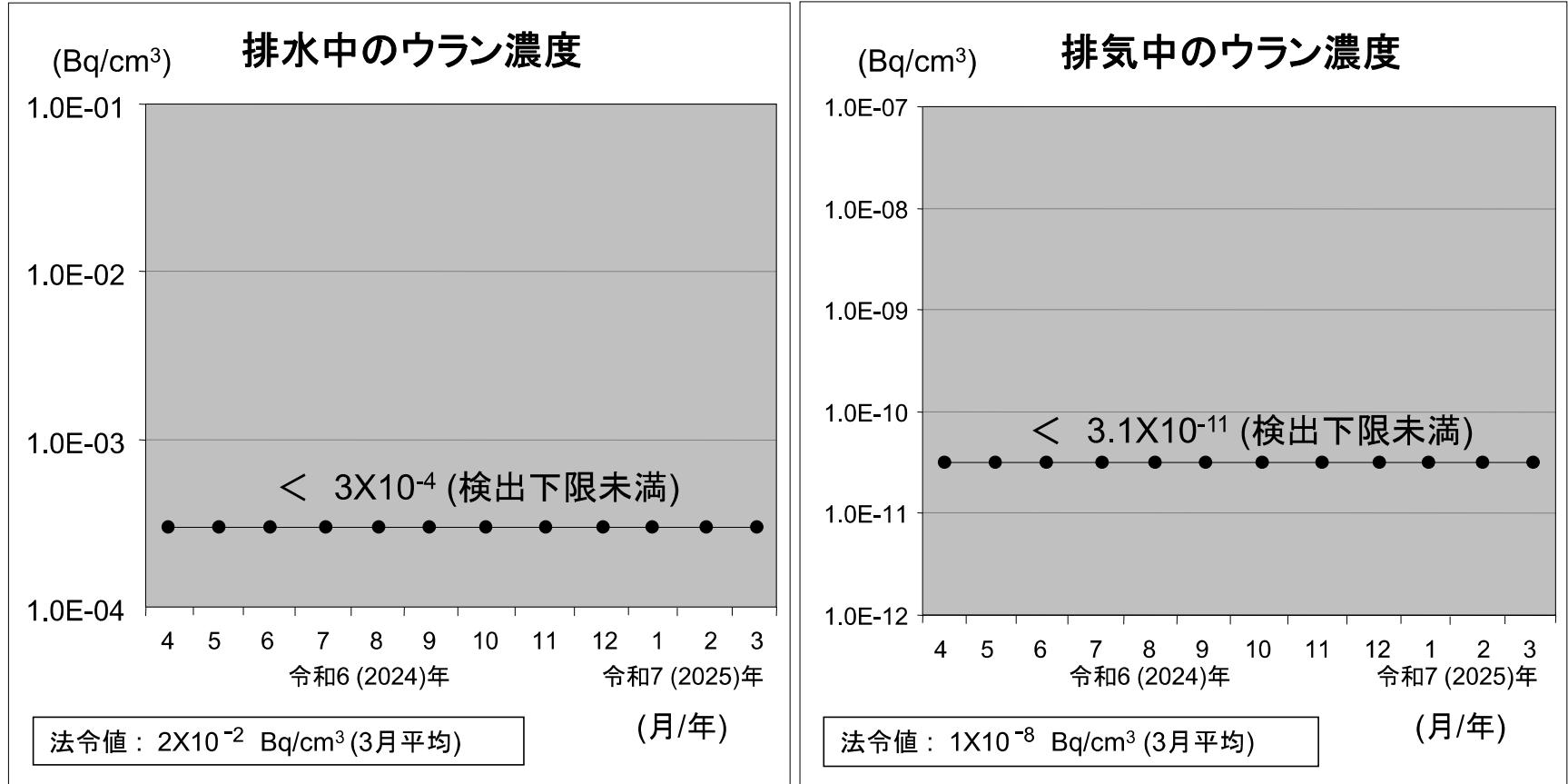
2024年3月末 : 408 Ton-U  
2025年3月末 : 408 Ton-U



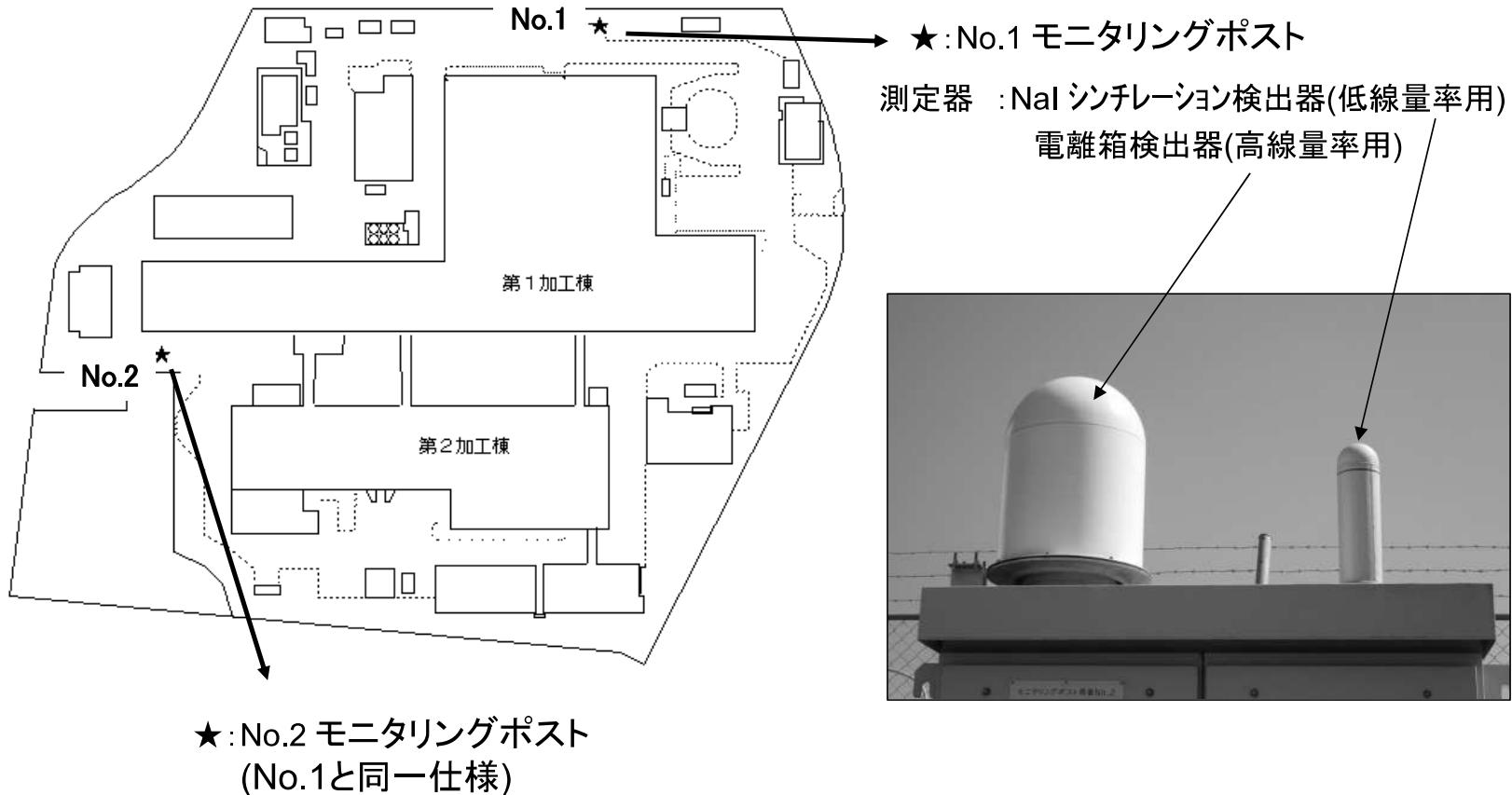
(参考) 令和5(2023)年度計

ウラン入荷量 : 0 Ton-U  
ウラン出荷量 : 0 Ton-U

## 2. 排水・排気実績



### 3. 敷地境界における空間放射線測定 (計測場所)

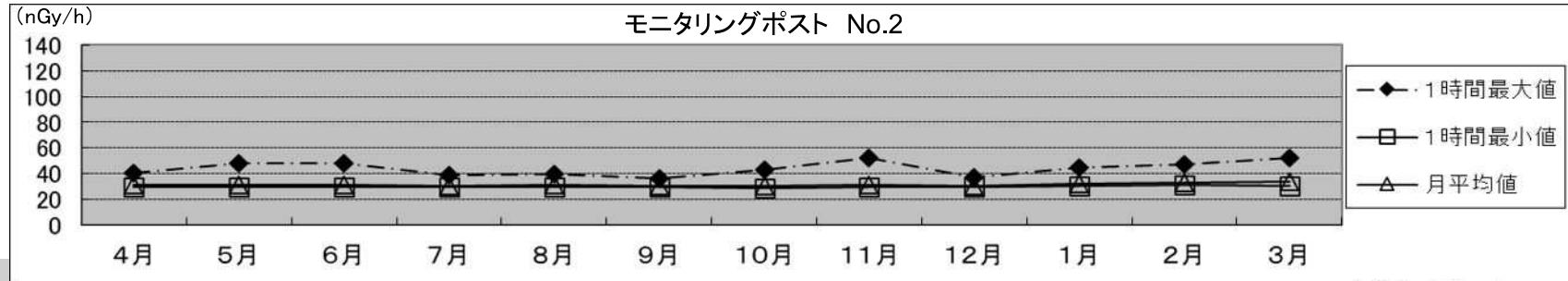
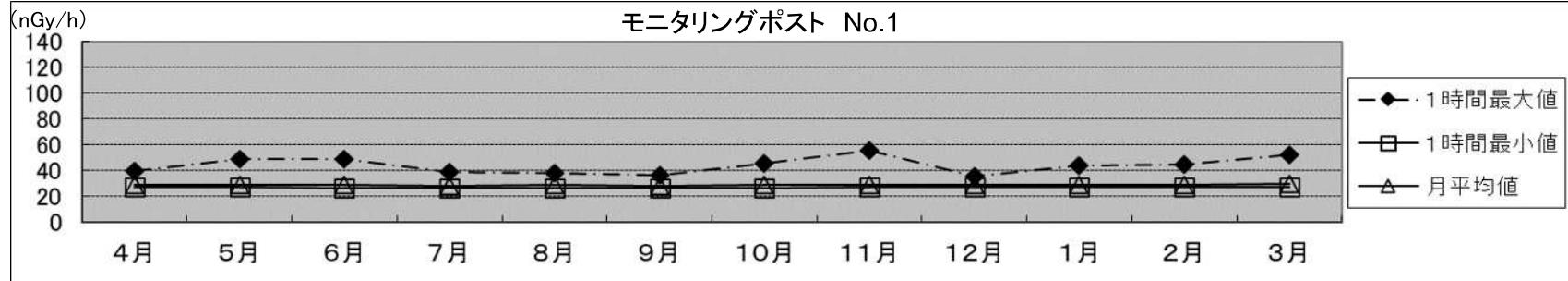


# 3. 敷地境界における空間放射線測定結果

## 令和6(2024)年度 – 空間線量率測定結果

年度			令和6年度												令和6年度 年間値	福島第1原発事故前 (平成19-21年度)	福島第1原発事故後 (平成22-令和6年度)	
測定器	集計項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
No.1	1時間最大値	nGy/h	39.6	49.1	49.0	38.8	37.8	36.1	45.3	55.7	36.0	43.6	44.7	52.6	55.7	48.2	~ 68.4	51.3 ~ 148.0
	1時間最小値	nGy/h	27.1	26.9	26.7	26.8	26.7	26.7	26.4	27.0	27.4	27.4	27.6	27.4	26.4	19.8	~ 21.5	22.3 ~ 38.8
	月平均値	nGy/h	28.7	28.8	28.7	28.5	28.6	28.1	28.5	28.8	28.7	29.0	29.1	30.1	28.8	23.0	~ 24.2	27.0 ~ 45.7
	積算値	nGy	20,668	20,708	20,694	21,203	21,257	20,232	21,240	20,723	21,036	21,377	19,551	22,398	0.25mGy/y	0.20mGy/y	~ 0.21mGy/y	0.24mGy/y ~ 0.40mGy/y
	調整時間	時間	0	25	0	0	0	0	0	0	12	7	0	1	45	14	~ 251	7 ~ 45
No.2	1時間最大値	nGy/h	40.4	48.2	47.8	39.2	39.7	36.4	43.1	52.0	37.3	44.7	47.4	52.2	52.2	50.5	~ 55.1	52.2 ~ 135.0
	1時間最小値	nGy/h	29.7	29.3	29.5	29.4	29.3	29.4	29.1	29.4	29.6	30.7	31.3	30.7	29.1	22.3	~ 26.6	26.6 ~ 42.9
	月平均値	nGy/h	31.3	31.1	31.0	30.9	30.9	30.5	30.8	30.9	32.2	32.6	33.6	31.4	29.0	~ 29.3	31.0 ~ 48.4	
	積算値	nGy	22,554	22,594	22,350	22,961	22,991	21,974	22,921	22,237	22,625	23,706	21,911	24,944	0.27mGy/y	0.25mGy/y	~ 0.25mGy/y	0.27mGy/y ~ 0.42mGy/y
	調整時間	時間	0	18	0	0	0	0	0	0	11	7	0	2	38	14	~ 122	7 ~ 57

単位 : nGy/h (原災法に基づく通報基準 : 5,000 nGy/h)



# 4.周辺環境モニタリング結果(1/4)

## 令和6(2024)年度 - 周辺環境サンプルのウラン濃度測定結果

地点番号	採取場所	試料	採取日：R06/3/11	採取日：R06/6/5	採取日：R06/9/4	採取日：R06/12/16	採取日：R07/3/14	H12年3月～R06年3月(参考)		
			測定者	測定者	測定者	測定者	測定者	第3者 (地点1-4はH26～)		
			第3者	第3者	第3者	第3者	第3者	最大値	最小値	平均値
1	敷地内東端	土 壤 測定単位 ( $\mu\text{g/g-乾}$ )	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7	0.4	0.58
2	敷地内西端		0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	1.1	0.5	0.73
3	敷地内南端		0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.9	0.4	0.56
4	敷地内北端		0.7	0.5	0.5	0.7	0.5	1.2	0.6	0.80
5	工業団地排水口付近		0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.8	0.3	0.44
6	敷地外南側住宅地		0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.8	0.4	0.61
7	排水口付近	河 泥 測定単位 ( $\mu\text{g/g-乾}$ )	0.8	1.0	1.3	1.4	1.1	2.1	0.5	0.99
8	排水口下流50m付近		0.9	1.4	1.4	1.1	1.0	1.7	0.4	0.92
9	排水口上流水門跡付近		0.9	0.7	0.9	1.2	0.8	1.8	0.5	0.84
10	開国橋上流10m付近		0.8	0.8	0.8	1.2	0.9	1.2	0.5	0.86
11	日の出橋上流10m付近		0.8	0.9	1.0	1.2	0.8	1.3	0.6	0.96
12	排水口上流200m付近		1.0	1.1	1.2	1.0	1.0	1.3	0.4	0.86
13	排水口上流約5km大橋上流		0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.5	0.1	0.29
7	排水口付近	河 水 測定単位 ( $\mu\text{g/l}$ )	2.1	1.1	1.8	2.7	1.4	2.9	0.1	1.20
9	排水口上流水門跡付近		2.2	1.3	1.7	2.1	1.3	2.5	0.2	1.18
11	日の出橋上流		2.1	1.2	1.7	2.7	1.7	2.6	0.3	1.31
13	排水口上流約5km大橋上流		0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.7	0.1	0.27

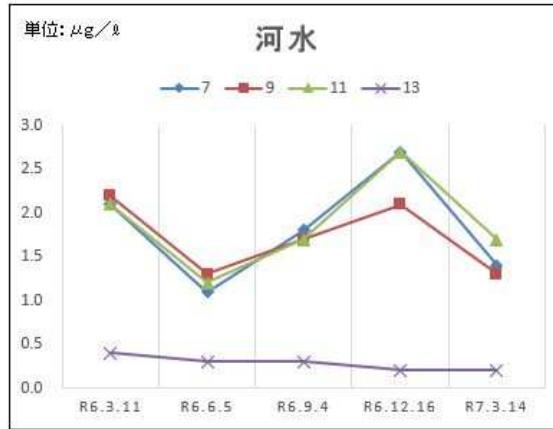
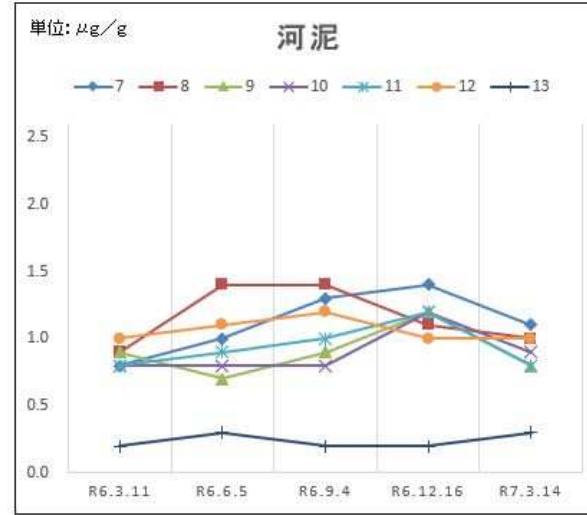
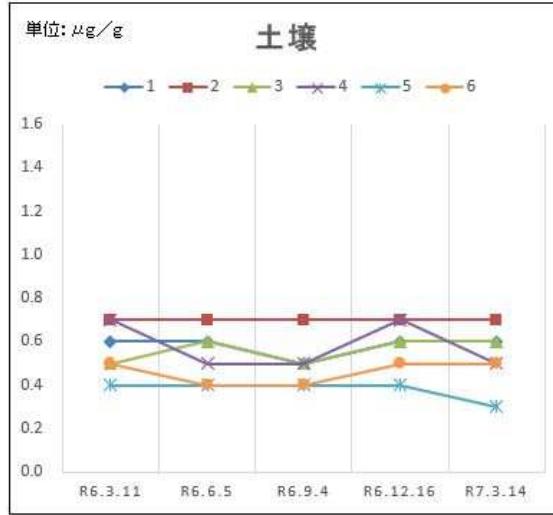
(備考) (1)測定者の第3者機関は公益財団法人日本分析センターとした。

(2)土壤及び河泥は、105°Cで乾燥し、粉碎して9メッシュ以下の試料とした。

(3)ウランの分析は、H26年9月採取試料よりICP質量分析法による。H26年6月以前の試料は、固体蛍光光度法による。

# 4.周辺環境モニタリング結果(2/4)

令和6(2024)年度 – 周辺環境サンプルのウラン濃度測定結果(グラフ)



試料	地点番号	採取場所	H12年3月～R06年3月		
			最大値	最小値	平均値
土壤	1	敷地内東端	0.7	0.4	0.58
	2	敷地内西端	1.1	0.5	0.73
	3	敷地内南端	0.9	0.4	0.56
	4	敷地内北端	1.2	0.6	0.80
	5	工業団地排水口付近	0.8	0.3	0.44
	6	敷地外南側住宅地	0.8	0.4	0.61
河泥	7	排水口付近	2.1	0.5	0.99
	8	排水口下流50m付近	1.7	0.4	0.92
	9	排水口上流水門跡付近	1.8	0.5	0.84
	10	開国橋上流10m付近	1.2	0.5	0.86
	11	日の出橋上流10m付近	1.3	0.6	0.96
	12	排水口上流200m付近	1.3	0.4	0.86
河水	13	排水口上流約5km大橋上流	0.5	0.1	0.29
	7	排水口付近	2.9	0.1	1.20
	9	排水口上流水門跡付近	2.5	0.2	1.18
	11	日の出橋上流	2.6	0.3	1.31
	13	排水口上流約5km大橋上流	0.7	0.1	0.27

# 4.周辺環境モニタリング結果(3/4)

令和6(2024)年度 – 周辺環境サンプル(久里浜湾)のウラン濃度測定結果

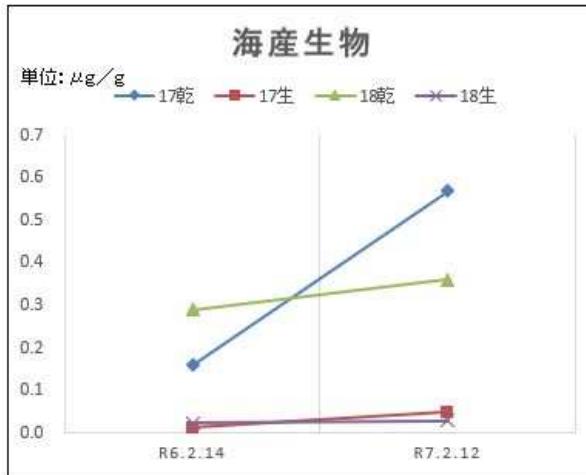
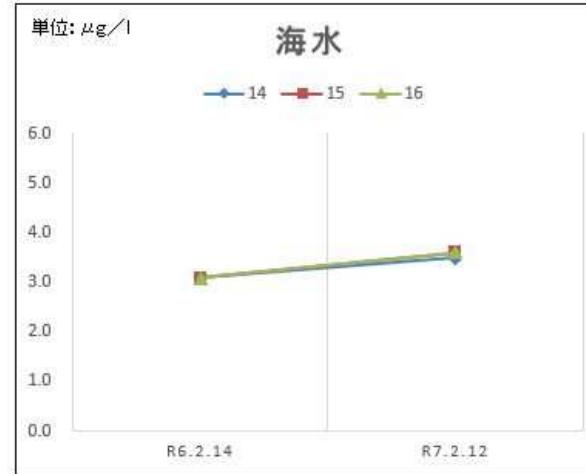
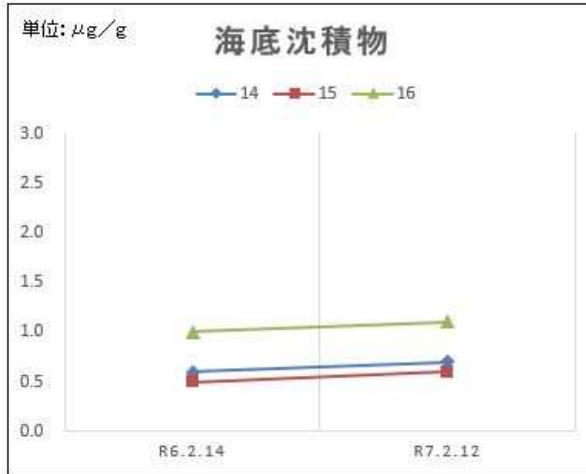
地点番号	採取場所	試料	採取日:R06/2/14	採取日:R07/2/12	H12年–R06年(参考)			
			測定者	測定者	第3者			
			第3者	第3者	最大値	最小値	平均値	
14	久里浜湾内	海底沈積物 測定単位 ( $\mu\text{g}/\text{g乾}$ )	0.6	0.7	1.2	0.5	0.77	
15			0.5	0.6	1.0	0.4	0.74	
16			1.0	1.1	1.6	0.9	1.24	
14	久里浜湾内	海水 測定単位 ( $\mu\text{g}/\text{l}$ )	3.1	3.5	3.8	2.4	3.06	
15			3.1	3.6	3.7	2.4	3.02	
16			3.1	3.6	3.7	2.1	2.98	
17	久里浜湾内	海産生物 ( $\mu\text{g}/\text{g乾}$ )	0.16	0.57	0.51	0.16	0.29	
			( $\mu\text{g}/\text{g生}$ )	0.012	0.048	0.043	0.012	0.021
			( $\mu\text{g}/\text{g乾}$ )	0.29	0.36	0.61	0.16	0.25
18			( $\mu\text{g}/\text{g生}$ )	0.022	0.028	0.037	0.011	0.019

(備考)

- (1) 測定者の第3者機関は公益財団法人日本分析センターとした。
- (2) 海底沈積物は、105°Cで乾燥し、粉碎して9メッシュ以下の試料とした。
- (3) 海産生物は、105°Cで乾燥した後450°Cで灰化粉碎とした。
- (4) ウランの分析は、H26年9月採取試料よりICP質量分析法による。H26年6月以前の試料は、固体蛍光光度法による。

# 4.周辺環境モニタリング結果(4/4)

令和6(2024)年度 – 周辺環境サンプル(久里浜湾)のウラン濃度測定結果(グラフ)



試料	地点番号	H12年 - R06年(参考)		
		最大値	最小値	平均値
海底沈積物	14	1.2	0.5	0.77
	15	1.0	0.4	0.74
	16	1.6	0.9	1.24
海水	14	3.8	2.4	3.06
	15	3.7	2.4	3.02
	16	3.7	2.1	2.98
海産生物	17乾	0.51	0.16	0.29
	17生	0.043	0.012	0.021
	18乾	0.61	0.16	0.25
	18生	0.037	0.011	0.019

## 5.モニタリングポストの新規制対応 及び No.1高線量率系故障について

2024年12月に、モニタリングポストの耐震補強工事を実施しました。

工事後、No.1の高線量率用検出器に故障が確認されたため、関係機関への連絡および復旧作業を進め、2025年4月1日に復旧し、6月6日に原災法第11条第5項に基づく放射線測定設備性能検査を受検しました。

故障期間中、低線量率用検出器による測定は継続しており、本資料「3.敷地境界における空間放射線測定結果」に示す測定値に対する影響はありませんでした。

# 6.弊社で発生した火災について(1/2)

2025/7/2と2025/11/5に加工施設で火災を発生させ、ご心配、ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

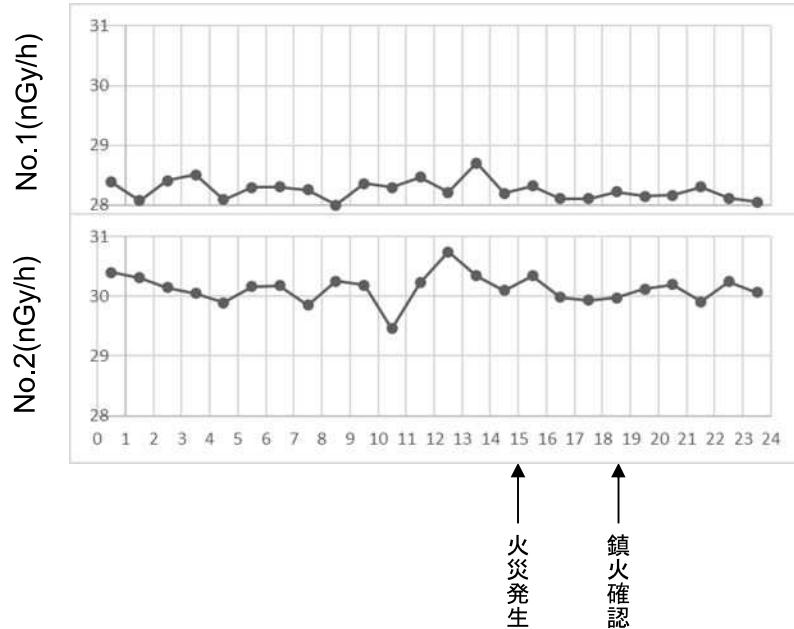
2025/7/2はウランを含む可能性がある廃油スラッジを乾燥設備で乾燥させているときの火災でしたが、火災を発生させた設備とその周辺のウラン表面密度及び室内の空気中ウラン濃度を測定した結果、設備外へのウランの放出はなかったことを確認しております。

また、2025/11/5の火災は、密封されたウランを取り扱う区域にある搬送設備の点検中に制御盤内の電気機器が焦げたもので、火災によるウランへの影響はありませんでした。

## 6.弊社で発生した火災について(2/2)

2025/7/2と2025/11/5のモニタリングポストの1時間平均値は、それぞれNo.1で28.0～29.4 nGy/hとNo.2で29.4～30.8 nGy/hとなっており、通常の範囲となって います。また、排気、排水も検出下限未満であることを確認しております。

7/2 モニタリングポスト  
(1時間平均値)



11/5 モニタリングポスト  
(1時間平均値)

